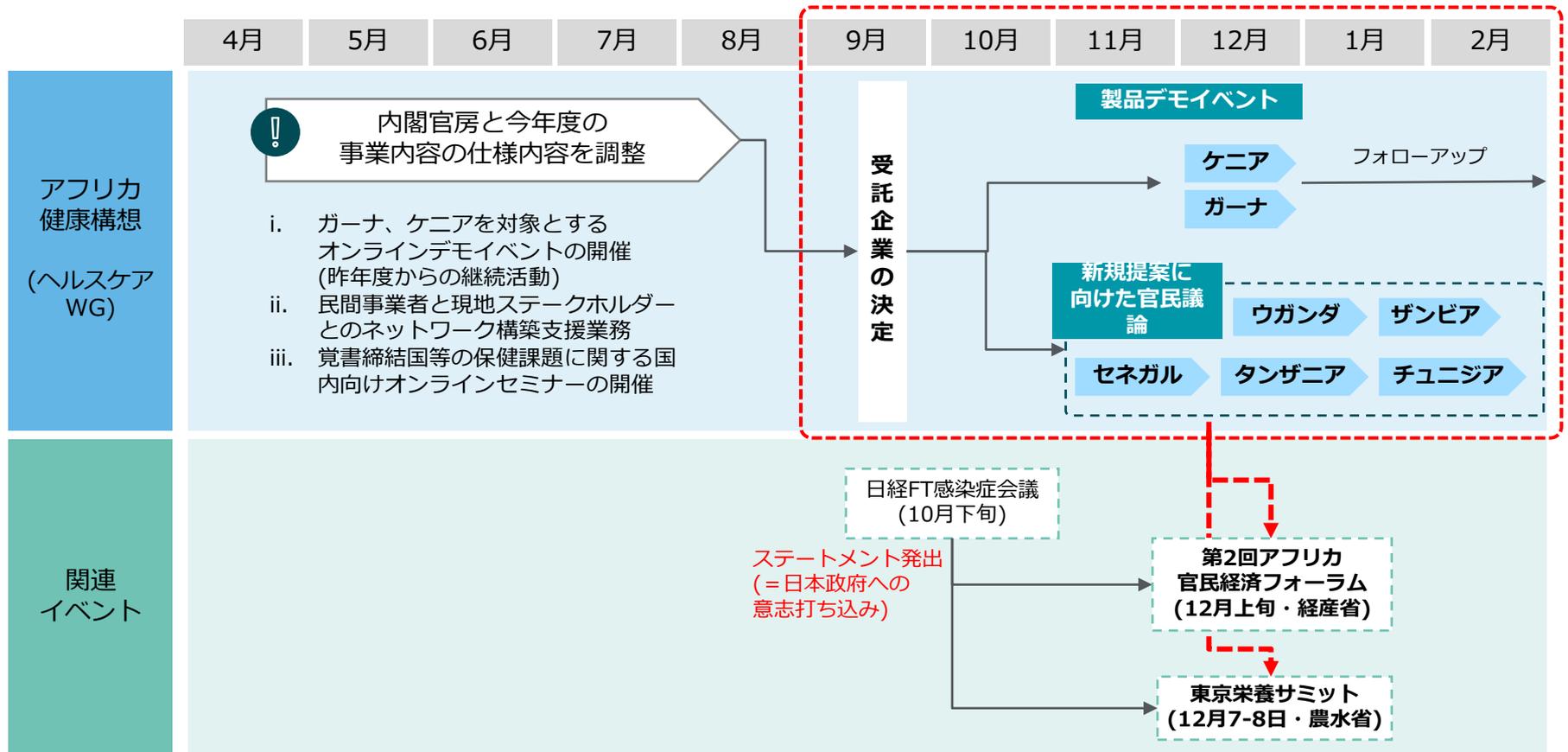


2021年9月17日(金)
JICA食と農の協働プラットフォーム(JiPFA) 会合資料

東京栄養サミットに向けた準備について (ヘルスケアWGとの連携のご提案)

■ 今年度のヘルスケアWG(アフリカ健康構想調査事業)は、アフリカに関連して開催される**重要イベントとの連携**を意識した活動を準備中



東京栄養サミット2021について



- 栄養サミットとは、栄養改善に向けた国際的取組を促進する会合。オリンピック・パラリンピックの開催国が開催するのが慣行で、4年に一度開催されている。英国（ロンドン）・ブラジル（リオ）に続き、開催。
- 東京栄養サミットは、2021年12月、東京都内で開催し、5つのテーマについて議論し、成果文書をまとめる予定。
- 農林水産省は、5つのテーマのうち、特に、テーマ2「**食：健康的で持続可能な食料システムの構築**」に関与。

【東京栄養サミットの全体概要】

概 要	<ul style="list-style-type: none">● 時期：2021年12月、7日・8日● 場所：東京都内● 主催：日本政府● 想定される出席者：各国政府ハイレベル、国際機関、学術機関、市民社会、民間企業他● 目的：世界の栄養改善の現状と課題を確認し、課題解決のための国際的な取組を推進する
想 定 さ れ る 成 果	<ul style="list-style-type: none">● 下記の5つのテーマに関して、各ステークホルダーの参加のもと議論し、成果文書（コンパクト）をまとめる。<ul style="list-style-type: none">① 健康：栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）への統合② 食：健康的で持続可能な食料システムの構築③ 強靭性：脆弱な状況下における栄養不良対策④ 説明責任：データに基づくモニタリング⑤ 財政：栄養改善のための財源確保● 全ステークホルダーが、SMARTコミットメントを表明。● 我が国の栄養に対する国内外の取組をパッケージとして発信。<ul style="list-style-type: none">・ 過去の取組：国民健康・栄養調査、学校給食、栄養士の育成、母子健康手帳を用いた栄養指導等・ 近年の取組：生活習慣病に対する法的枠組みを含む取組、食育、健康経営、「IFNA」、「栄養改善事業推進プラットフォーム」等

東京栄養サミット2021 農水省サイドイベントについて



- 農林水産省では、日本の農業・食品産業等の持続可能な発展に繋がるよう、サミット開催に合わせてサイドイベントを開催
- 本サイドイベントは、**日本の栄養改善の経験・知見、世界の栄養改善に向けた日本らしい取組を、世界に発信する場**としたい

【農水省サイドイベントの概要】

① 食料システムサミットとの連携セッション

- 国連食料システムサミットの成果の報告

② 日本の食産業の貢献に関するセッション

- 我が国における栄養分野に貢献する農業・食料産業に係る取組の現状と未来に向けた情報発信。
【事例】アジア・**アフリカにおける栄養改善のリスクのステージに応じた支援の必要とステージ事の官民連携の在り方**について議論

③ 栄養改善に貢献する企業・関係団体の円卓会議

- 途上国等の政府関係者、NGO代表等を招へいし、我が国食品企業の世界の栄養分野への貢献に関するプレゼンテーションや、官民が連携した今後の取組の議論を行う円卓会議等を開催

④ 食関連企業のコミットメント表明

- 国内食関連企業等のコミットメント表明の場を提供（次スライドでご説明）

東京栄養サミットの農林水産省の情報 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/seisaku/n4g2021.html>

【参加企業募集】東京栄養サミットにおけるコミットメント表明

- 日本政府は、栄養改善に取り組むすべてのステークホルダーにSMARTコミットメントの表明を期待。
- **各国政府や国際機関が集まる場でコミットメントを表明することは、食関連企業が世界に対し、自社の栄養改善の社会的貢献を示すだけにとどまらず、企業価値を高め、ひいては国内の食市場が縮小する中、海外展開の戦略につながりうる。**
- 東京栄養サミットに先立ち開催される「国連食料システムサミット」でも全ステークホルダーにコミットメントを求めており、**日本の食品関連企業数十社が自社のSDGsの取組等を表明。**
- 農林水産省は、栄養改善事業推進プラットフォーム(NJPPP)協力の下で食関連企業が実施しているコミットメント作成に向けた勉強会の支援、個々の企業とのWEB会議の実施等、**食関連企業のコミットメント作成をサポートいたします！**
- **国内外に広く発信されるこの機会に、ぜひコミットメント表明をご検討ください！ご関心のある方は農林水産省新事業・食品産業政策課国際班（nousui_tokyon4gsummit@maff.go.jp）まで！**

【SMARTコミットメントとは】

- S**pecific : 具体的
- M**easurable : 測定可能
- A**chievable : 達成可能
- R**elevant : 適切性
- T**ime-Bound : 達成期限付き



【コミットメントの登録】

- コミットメント登録はN4Gサイトから実施
<https://forms.gle/TS4bjJrfqBNdh57h7>

コミットメント登録例

- ゴール：子供の衰弱を減少させる
- 行動計画：普段の食事に混ぜるだけでタンパク質摂取ができる「商品名：★★」を、貧困家庭に、安価で購入してもらう
- セッティング：〇〇国の△△州
- 対象人口：約30万人の児童
- 第一指標：子供の衰弱が5%減少する
- 経費合計：5,000万円
- コミットメント期間：2022年4月～2024年4月
- フルコミットメント：2024年4月までに、販路を確保し、〇〇国の△△州の約30万人の子どもたちに★★を届け、2年間で衰弱を5%減少させる

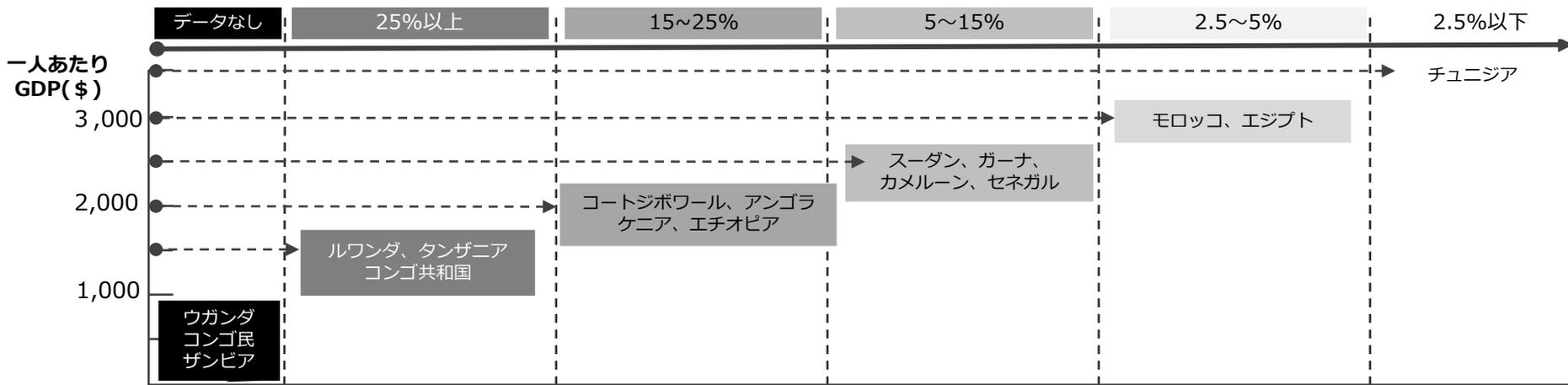
※上記の例は外務省がNJPPPセミナーで参考事例として提示したものと

【コミットメント表明参考ガイド】

- Commitment Making Guide
<https://nutritionforgrowth.org/wp-content/uploads/2020/12/N4G-Commitment-Making-Guide.pdf>
- Commitment Registration Guide
<https://nutritionforgrowth.org/wp-content/uploads/2020/12/GNR-N4G-Commitment-Registration-Guide.pdf>

東京栄養サミットでは、日本の栄養改善に対する取り組みが、パッケージとして発信される

全人口に占める、栄養不足人口の割合(%)



栄養改善上の主課題

実態把握に向けた調査の実施

- 成長期の子供の栄養を考えた食事への投資
 - ・母子の栄養改善
 - ・低栄養の対策 (カロリー改善・必須栄養素の摂取)

- 基礎的な栄養項目の充足を目指した食品加工技術の導入

- 食品産業の育成・発展

- 並存する過栄養への対策

日本の栄養改善の取り組みとの関連性(事務局仮説)

社会制度整備(日本の経験)

政府の取組

- 国民栄養調査の実施

- 栄養専門職の制度化
 - ・栄養士育成学校での人材育成
 - ・栄養士資格の国家資格化

食事摂取基準の制定

- ・食品成分表の基準形成

- 国民健康づくり対策
 - ・生活習慣病対策としての健康診断の促進
 - ・健康的な病院食提供

- 国際保健外交戦略
 - 日本の経験を踏まえた国際的なモデル形成と発信

地域医療

- 保健所を軸としたプライマリヘルスケア
 - ・国内の各地域への保健所の設置
 - ・母子保健制度(母子手帳)での保健婦の母子サポート

- 地域住民への栄養指導
 - ・保健所の栄養士による食事巡回指導

農業

- 農業組合設置による集落組織育成
 - ・営農指導員・農業改良普及員による農業技術指導

- 職場での栄養教育
 - ・職場食の提供
 - ・職場での健康診断

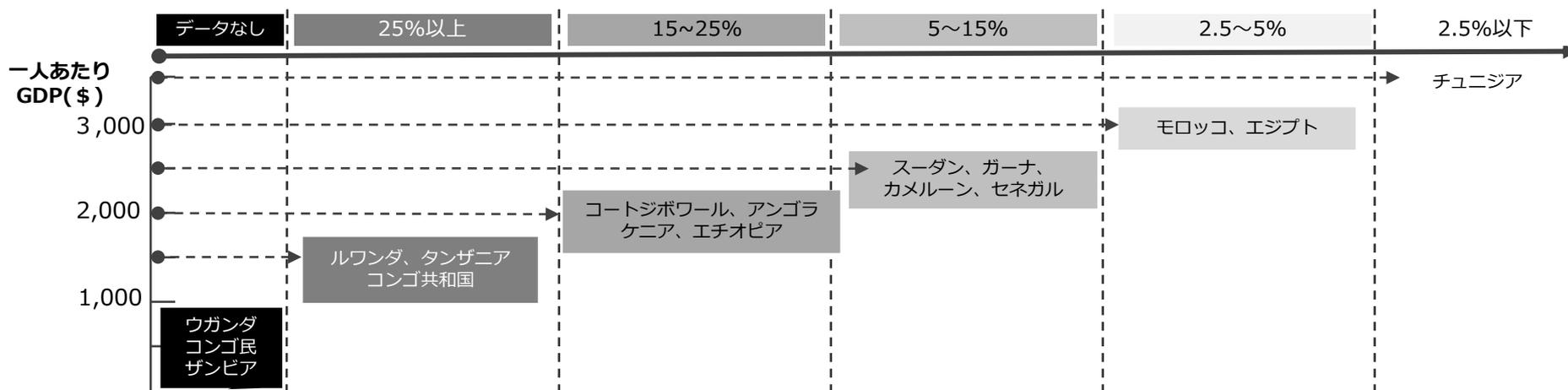
教育

- 学校給食を軸とした子供の栄養改善・栄養教育
 - ・学校給食の普及
 - ・生徒への健康診断

- 食育の推進
 - 体験学習を通じた食育授業

東京栄養サミットで、アフリカの栄養改善に資する日本企業からの提案を発信したい！

全人口に占める、栄養不足人口の割合(%)



栄養改善上の主課題	実態把握に向けた調査の実施	成長期の子供の栄養を考えた食事への投資 ・母子の栄養改善 ・低栄養の対策 (カロリー改善・必須栄養素の摂取)	基礎的な栄養項目の充足を目指した食品加工技術の導入	食品産業の育成・発展 並存する過栄養への対策
<p>■ 関連しそうな分野からの打ち手(事務局仮説)</p> <p>農業</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業の発達による栄養改善 <ul style="list-style-type: none"> 生産量の拡大 (肥料利用の拡大) 生産食物の見直し (大豆等) 農業の生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> 効果的な農法(機械化等)の導入・普及 	<p>保健・医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地生産の素材を利用した、鉄分や、たんぱく質が豊富な食品摂取を通じた、免疫力の強化 	<p>流通インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の保健・医療拠点の整備、機能強化 (学校や保健所のキオスク化) 	<p>人材・教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健師や栄養士による栄養指導 <ul style="list-style-type: none"> 保健師・栄養士の公的資格化を進め、職業としての栄養指導事業を創出(ヤクルトレディのイメージ) 	<p>農業</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業の産業化 <ul style="list-style-type: none"> 加工業へのシフト 循環型農業の実現 生産物の品質向上 (高栄養化など) <p>保健・医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 末期医療 精神疾患 <p>流通インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> コールドチェーン物流拠点 (港・倉庫等) を整備 <p>人材・教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育

- 今年度の、ヘルスケアWGでも、引き続き**栄養改善**をテーマに、具体提案を現地と協議することを想定

【参考】昨年度のヘルスケアWGの活動内容

テーマ別分科会：民間事業の連携によるアフリカ事業展開モデルケースの検討

Covid-19と既存感染症
対策の両立

母子保健/糖尿病/**栄養改善**

遠隔医療/医療ICT

Covid-19

水・衛生

母子保健

栄養改善

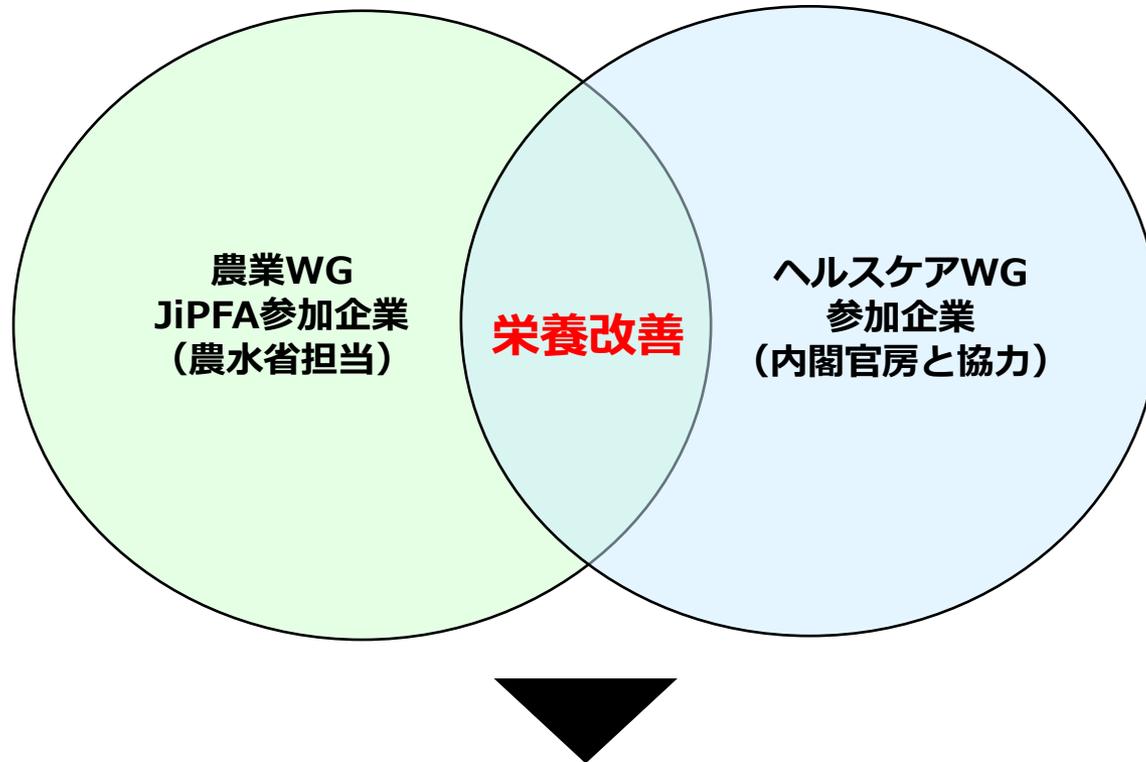
医療ICT

遠隔医療

マラリア

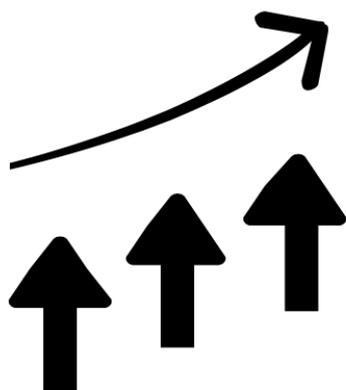
糖尿病

- 今後、東京栄養サミットに向けた議論・準備を、農業・ヘルスケア、両WGからのメンバー企業の混成チームで進めたい、です。



栄養サミット・TICAD8と、
アフリカや国際機関への提案ができる機会を使って、
All-Japanで**栄養改善に関するメッセージ**を発信したい

- 東京栄養サミットでの、チームアフリカからの発信に向け、**準備に力添えいただける方**を絶賛募集中です！



栄養サミットで
日本が発信する
メッセージの
議論



発信メッセージ
の中で紹介した
い日本企業の取
組の把握



栄養サミットでの
メッセージ発信

→ TICAD 8 に繋げて
いきたい

栄養サミットに向けたメッセージ発信への参加表明は
本会終了後のアンケートにて募集いたします。

「まずは話だけ聞いてみたい」という方も
JBCA事務局より直接ご説明に参ります。

関わり方はみなさんにお任せしますので
ご興味のある方は
アンケートへのご回答をお願いいたします！